

# 『航空機騒音による健康への影響に関する調査報告書』正誤表

## 概要

- 2頁 9行 深夜・早朝 ⇒ 未明・早朝
- 2頁 6行 性別, 年齢, ⇒ 性別, 年齢, 職業,
- 2頁 4行 3.0 および 3.6 であり ⇒ 3.4 であり
- 3頁 4行 騒音への反応 ⇒ 対騒音反応保有数, 保育領域・TV 等
- 3頁 1行 騒音への反応 ⇒ 対騒音反応保有数, 保育領域・TV 等
- 5頁 15行 75~79, 80~84, 85~89, 90~94, ⇒ 75~80, 80~85, 85~90, 90~95,
- 5頁 12行  
有効回答数は曝露群 6,247, 対照群 848 であり, これに, 1991 年に北谷町で行われた THI 調査の有効回答 615 を加えた 7,710 名の回答について分析を行った。  
⇒ 1991 年に北谷町で行われた THI 調査の有効回答 615 を加えた有効回答数は, 曝露群 6,247, 対照群 848 であり, 合計 7,095 名の回答について分析を行った。
- 5頁 10行 性別, 年齢, ⇒ 性別, 年齢, 職業,
- 5頁 9行 情緒不安定, 攻撃性, ⇒ 消化器, 情緒不安定,
- 5頁 7行 呼吸器 並びに 神経質 では, ⇒ 神経質 では,
- 5頁 6行 WECPNL 75, 80, 85 の 3 群 ⇒ WECPNL 70, 75, 80, 85 の 4 群
- 5頁 3行  
攻撃性 では, 尺度得点が 13 以下となる低得点者のオッズ比が, WECPNL80, 90, 95 の 3 群で有意に上昇した。⇒ (削除)
- 6頁 4行 6,301 通 ⇒ 5,541 通
- 6頁 12行  
最高・最低血圧 (28,803 件), 白血球数 (13,413 件), 尿酸濃度 (8,453 件)  
⇒ 最高・最低血圧 (28,781 件), 赤血球数 (28,692 件), 白血球数 (13,404 件), 尿酸濃度 (8,449 件)
- 6頁 2行  
約 0.8 となっており, しきい値を上回る比率が 40%程度低くなっている  
⇒ 0.74 となっており, しきい値を上回る比率が 30%近く低くなっている

## English Summary

- 3頁 4行 from 3.0 to 3.6 ⇒ 3.4
- 4頁 9行 into three groups ⇒ into four groups
- 4頁 10行 values of 75, 80, and over 85 ⇒ values of under 75, 75, 80, and over 85
- 4頁 16行  
“all the misbehaviours” or “reaction to noise” ⇒ “all the misbehaviours”, “reaction to noise” or “TV etc.”
- 4頁 11行 “reaction to noise”. ⇒ “reaction to noise” and “TV etc.” around Kadena Air Base.
- 7頁 7行 MENT, AGGR ⇒ DIGE, MENT
- 7頁 8行 RESP and NERV, ⇒ NERV,
- 7頁 12行  
As to AGGR, odds ratio with scale score of less than 13 inclusive was significant in Groups 85, 90 and 95.  
⇒ (削除)

- 8 頁 5 行

systolic blood pressure and diastolic blood pressure(28,803 cases), numbers of red and white blood cells(13,413 cases) and the concentration of uric acid (8,453 cases).

⇒ systolic blood pressure and diastolic blood pressure (28,781 cases), numbers of red cells (28,692 cases), white blood cells (13,404 cases) and the concentration of uric acid (8,449 cases).

- 8 頁 1 行 Japan Association of Industrial Health ⇒ Japan Society for Occupational Health

## 第 2 章 航空機騒音曝露

- 2-15 頁 表 2-13 表中の “0” を全て “—” に修正 (欠測)
- 2-16 頁 表 2-14 表中の “0” を全て “—” に修正 (欠測)
- 2-16 頁 表 2-14 “ $L_{\max,day}$  の最大値”, “ $L_{\max,night}$  の最大値” ⇒ それぞれ “ $L_{\max,day}$ ”, “ $L_{\max,night}$ ”
- 2-19 頁左 3 行 昼間と夜間の  $L_{eq}$  の関係 ⇒ 夜間の  $L_{eq}$  との関係

## 第 3 章 生活質・環境質

- 3-28 頁 右 6 行 「たいへんうるさい」または「かなりうるさい」⇒ 「たいへんうるさい」
- 3-30 頁 左 14 行 または「住みよい」⇒ 「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」
- 3-30 頁 図 3-28, 3-29  
X 軸の数値の “Ctrl., -75, 75-, 80-, 85-, 90-” を “Ctrl., 75-, 80-, 85-, 90-, 95-” に修正。
- 3-74 頁 表 「防音工事実施室を利用する際の窓の開閉」の部分を下に差し替える。

防音工事実施室を利用する際の窓の開閉							
1 ほとんどあけている	30.8%	25.7%	31.4%	34.6%	33.3%	31.1%	38.4%
2 ほとんどしめている	15.8%	16.8%	11.8%	9.7%	12.6%	17.1%	10.1%
3 あけたりしめたりである							
8 時間未満しめている	9.6%	7.8%	10.7%	12.8%	9.3%	10.8%	7.1%
8-16 時間しめている	28.1%	35.9%	35.5%	31.8%	33.1%	29.1%	36.4%
16 時間以上しめている	15.8%	13.8%	10.7%	11.1%	11.7%	12.0%	8.1%

- 3-81 頁 表 「防音工事実施室を利用する際の窓の開閉」の部分を下に差し替える。

防音工事実施室を利用する際の窓の開閉							
1 ほとんどあけている	30.8%	25.8%	31.5%	34.6%	32.4%	31.1%	39.4%
2 ほとんどしめている	14.6%	17.0%	11.7%	9.7%	12.7%	16.8%	8.6%
3 あけたりしめたりである							
8 時間未満しめている	9.2%	6.3%	10.6%	12.7%	9.3%	10.5%	6.9%
8-16 時間しめている	29.1%	35.7%	35.6%	31.8%	34.2%	29.4%	36.0%
16 時間以上しめている	16.3%	15.1%	10.7%	11.2%	11.4%	12.3%	9.1%

## 第 7 章 住民健康診断データ

- 7-10 頁 右 13 行 WECPNL が 85 以上 ⇒ 最高血圧については, WECPNL が 85 以上

## 第 9 章 聴力

- 9-8 頁 表 9-4 症例 No.11 の SISI-1k の “疑陽性/疑陰性” を “疑陽性/陰性” に訂正。
- 9-21 頁 左上表 17 行 1 kHz; 陰性 ⇒ 1 kHz; 右-陰性, 左-疑陽性
- 9-31 頁 左上表 12 行 1 kHz; 陰性 ⇒ 1 kHz; 右-陰性, 左-疑陽性